

2024 年度

事業シート

事業名	生き生き功労賞	事業開始年度	平成13年度
上位施策事業名	「元気な入間」都市宣言に関すること	担当局・部名	企画部
根拠法令等	「元気な入間・生き生き功労賞」要綱	担当課・担当名	企画課
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	作成責任者	横内 健

実施の背景	平成13年の「元気な入間」都市宣言に合わせて開始した表彰制度
-------	--------------------------------

目 的 (何のために)	元気を通じて、広く市民に明るい夢と希望を与えることに多大な功績があったものについて、その功績をたたえるため表彰し、市民意識の高揚と「元気な入間」のイメージの向上を図る。
------------------------	---

事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	国際レベルの活躍や、日本国内でトップレベルの活躍をされた個人及び団体	対象者数 (全住民に対する割合) 人 %)
	実施方法	☒ 直接実施	
		☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 (委託先又は指定管理者:)	
		☐ 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)	
		☐ 貸付 (貸付先:) ☐ その他 ()	
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 推薦された被表彰候補者を審査し、功績が認められる場合は、表彰状及び副賞の記念品を贈呈する。		
関連事業 (同一目的事業等)	元気な入間生き生き大使、知名度アップ委員会		

		2024 年度（予算）				2023 年度(決算)				2022 年度(決算)				2021 年度(決算)			
コスト	事業費	事業費合計		62 千円		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		事業費内訳 (2023年度分)		記念品（クリスタル盾） 46千円 元気な入間生き生き大使用 賞状・額・風呂敷等 8千円 元気な入間生き生き功労賞用 賞状・額・風呂敷等 8千円													
	人件費	担当正職員		0.25 人	1,975 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円				
		臨時職員等		0 人	千円	0 人	千円	0 人	千円	0 人	千円	0 人	千円				
		人件費合計		0.25 人	1,975 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円	0.05 人	395 千円				
	総事業費		2,037 千円		395 千円		395 千円		395 千円		395 千円						
財源内訳	国県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円									
		国県支出金の内容		－													
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円									
	その他特財	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特財の内容		－													
	一般財源	62 千円		0 千円		0 千円		0 千円									
財源合計		62 千円		0 千円		0 千円		0 千円									

事業シート

事業名		生き生き功労賞				事業開始年度		平成13年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		「元気な入間・生き生き功労賞」候補者推薦の募集		件	0/	0/	0/		
		「元気な入間・生き生き大使」活用実績		件	0/	0/	0/		
					/	/	/		
	単位当たりコスト	0	/	件					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	国内外で高く評価される顕著な功績を挙げた個人または団体を表彰することにより、広く市民に夢と希望を与え、潤いと活力と元気のある社会づくりを目指す。							
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		「元気な入間・生き生き功労賞」表彰者		件	0/	0/	0/		
		「元気な入間・生き生き大使」活用によるPR効果		件	0/	0/	0/		
					/	/	/		
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域		☒ 要改善		現行通り・拡充	
評価の内容		直近の表彰は令和2年度の2名であり、表彰実績としては停滞している状況である。対象者が「国際レベルの活躍や、日本国内でトップレベルの活躍をされた個人及び団体」と基準が高く、他市で言うところの「市民栄誉賞」に近い位置づけであることから、頻繁には表彰していない状況である。表彰規模のイメージとしては、「市民憲章」>「市表彰」>「生き生き功労賞」である。 トップレベルの功績は生み出せないため、市に関係する方の功績について情報収集を漏らさないよう努めるとともに、被表彰者に協力いただく「生き生き大使」としての活動の充実を検討していく必要がある。その際は、「いるまPR大使」や「入間市スポーツアンバサダー」等との整理も必要であると認識する。							
課題	2023年度	推薦募集に関する周知の課題							
	2024年度	「生き生き大使」としての活動実績向上に対する課題							
今後の予定		令和6年度被表彰候補者の推薦募集							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)									
特記事項		・いくつかの課で表彰を所管しており、表彰制度の全体整理も必要であると認識。 ・著名人の「生き生き大使」または「いるまPR大使」や「入間市スポーツアンバサダー」等としての連携・協力は、シティプロモーションでの一括管理・検討が効果的であると認識。							